



2020年9月29日

各位

会社名 バーチャレクス・ホールディングス株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 丸山 栄樹  
 (コード: 6193 東証マザーズ)  
 問合せ先 取締役 経営管理本部長 黒田 勝  
 (TEL. 03-3578-5300)

### 業績予想に関するお知らせ

2020年8月7日に公表いたしました「2021年3月期 第1四半期決算短信[日本基準](連結)」において未定としておりました2021年3月期の連結業績予想につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

#### 1. 連結業績予想

(1) 2021年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2020年4月1日~2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前期第2四半期実績(A) (2020年3月期第2四半期)	百万円 2,903	百万円 △198	百万円 △195	百万円 △464	円 銭 △159.94
今回修正予想(B)	2,530	△30	△20	△30	△10.42
増減額(B-A)	△373	168	175	434	—
増減率(%)	△12.9	—	—	—	—

(2) 2021年3月期通期(累計)連結業績予想数値の修正(2020年4月1日~2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前期実績(A) (2020年3月期)	百万円 5,948	百万円 △192	百万円 △191	百万円 △519	円 銭 △179.59
今回修正予想(B)	5,300	30	40	20	6.95
増減額(B-A)	△648	222	231	539	—
増減率(%)	△10.9	—	—	—	—

## 2. 連結業績予想の理由

2021年3月期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を適正かつ合理的に算定することが困難であることから未定としておりました。新型コロナウイルス感染症の収束時期は不明なものの2021年3月期中は影響が継続し、経済活動は段階的に再開に向かう想定のもと、現時点で入手可能な情報や予測に基づき、あらたに算定をいたしましたので公表いたします。

当期においては、IT&コンサルティング事業およびアウトソーシング事業ともに新型コロナウイルス感染症により事業活動に影響が及んだ一部のクライアントについて、第1四半期に委託業務の縮小や開発投資の抑制がありました。緊急事態宣言解除や経済活動再開に伴い、これらが当社業績に与える影響も一旦収束に向かっているものの、売上高においては上期、通期ともに前年比で減収を予想しております。

利益面においては、前期はIT&コンサルティング事業において株式会社タイムインターメディアの大型システム開発案件における品質トラブルにより大きな損失計上をしました。当期は、開発体制を見直し再発防止に努めるとともに、販管費を含めた徹底したコスト削減を推し進めており、減収の影響はあるものの上記の利益を予想しております。

なお、当期においては、新型コロナウイルスのさらなる感染拡大や、収束の状況をはじめとする外的要因により業績予想に変動が生じる可能性も否定できないため、大きな変動が見込まれる場合は、改めて速やかに業績予想を修正いたします。

(注) 上記の予想数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

以 上